

社会学演習Ⅳ

科目ナンバリング SEM-402
必修 2単位

山下 雅之

1. 授業の概要(ねらい)

ピエール・ブルデューの文化社会学で学んだ考え方をベースとして、自分の興味を持つ文化的領域でテーマを設定し、資料やデータを集め、ゼミでの発表を行う。
日本やフランスを中心として、マンガ、アニメ、美術、映画、音楽、文学、ファッション、インテリア、食文化などの諸領域から、自分でテーマを設定して下さい。

2. 授業の到達目標

文化社会学の概念を踏まえながら、現代の文化的領域で見られる特徴的な現象について、自らテーマを設定し、調べた結果をゼミで発表する。

3. 成績評価の方法および基準

テーマの設定、資料の収集と分析、ゼミでの発表を総合的に評価する

4. 教科書・参考文献

参考文献

ピエール・ブルデュー 美術愛好 木鐸社

ピエール・ブルデュー ディスタンクシオン 藤原書店

5. 準備学修の内容

自ら設定したテーマについて資料やデータを集め、ゼミで発表する

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

- 【第1回】 文化社会学の基本概念を確認する
- 【第2回】 文化社会学の研究方法
- 【第3回】 文化社会学の現状
- 【第4回】 文化社会学の諸領域
- 【第5回】 現代日本の文化現象 1) アイドル文化
- 【第6回】 現代日本の文化現象 2) スポーツ文化
- 【第7回】 現代日本の文化現象 3) マンガアニメ
- 【第8回】 現代日本の文化現象 4) 韓流、中国、台湾など近隣アジア圏からの輸入：(例) BTS、twice・・・
- 【第9回】 現代日本の文化現象 5) 擬人化によるゲーム
- 【第10回】 現代日本の文化現象 6) VR とAR：ポケモンGOとマリカー
- 【第11回】 現代日本の文化現象 7) コミケやコスプレなどのイベント現象
- 【第12回】 現代のグローバルな文化現象 1) ダンスミュージックやラップバトル
- 【第13回】 現代のグローバルな文化現象 2) CDからライブへ：フランスのアイドル
- 【第14回】 現代のグローバルな文化現象 3) クイーンの世界的リバイバル
- 【第15回】 現代のグローバルな文化現象 4) フランスの有名パティシエが日本のファーストフード店にスイーツを創作：(例) ボンデイスバハン 5) ミシュランのフランス版で日本人が初めて3つ星